

議会のトピックス

令和5年度予算案を審議

TOPICS

常任委員会報告

議員一般質問

高校生議会を開催

表紙の写真・イラスト募集中!! (詳しくは裏面へ)

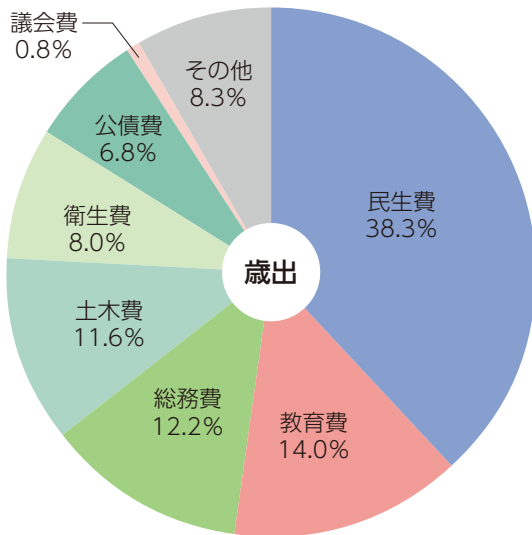
表紙写真「なが〜い滑り台」(撮影場所: 可児やすらぎの森)
鈴木涼花さん(今渡)撮影

令和5年第1回定例会を2月28日から3月24日までの会期で開き、37議案を審議しました。

このうち、令和5年度予算案については6日間にわたり予算決算委員会で審査した後、本会議において、すべての予算案が提案どおり可決しました。

に向けた予算が決定

3000万円の内訳構成



【ポイントで見る令和5年度の予算】

歳入
市税
147億2000万円 前年度比 (4億8400万円増)

市税収入は収入全体の46.3%と大部分を占めています。家屋の新増築などによる固定資産税等の増加を見込んでいます。

歳出
民生費
121億8412万円 前年度比 (2億4458万円増)

福祉にかかる予算額が1番多くなっています。障がい福祉サービス給付費、子どもの医療費助成、高齢者の介護保険や医療保険の負担などが多くを占めています。



地域要望の強い生活道路や排水路の改良をはじめ、計画的なインフラの整備に必要な財源を確保すること。

各所管において長寿命化計画を策定し、計画的な補修整備を進めています。補修費用は市の負担軽減のため、国や県の補助金制度などを積極的に利用していきます。 など

¥ 予算へ反映

- ・道路維持事業 4億9092万円
- ・河川改良事業 6230万円

提言 2

インフラ整備費の確保について



令和3年度の効果を鑑み、事業の取捨選択を図りながら、交流人口を増加させるため、より効果のある事業を展開すること。

民間企業と連携した事業(公民連携)により、若い世代が可児市に住みたい、また、他の地域の人が住みたいと感じるような魅力づくりについて検討を進めていきます。 など

¥ 予算へ反映

- ・可児の魅力づくり推進事業 1431万円

提言 1

シティプロモーション推進事業について

「令和4年9月定例会で、議会から市長へ
 「令和5年度予算編成へ活かすための4つの提言」
 を行いました。提言は次のように反映されました。」

どうなった？ 議会からの提言

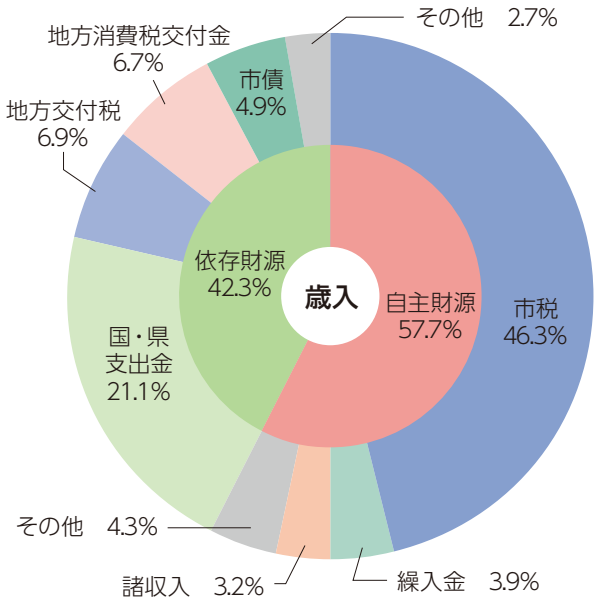
過去3番目の予算規模
税金はどう使われる？

令和5年度予算案を審議 「住みごこち一番・可児」

各会計予算額と増減率

会計名	本年度予算	前年度比
一般会計予算	318億3000万円	6.6%
特別会計	国民健康保険事業	107億2000万円 1.1%
	後期高齢者医療	16億5400万円 2.9%
	介護保険	79億7670万円 4.4%
	自家用工業用水道事業	1億6200万円 0.0%
	農業集落排水事業	1億6300万円 4.5%
	可児御嵩インターチェンジ 工業団地開発事業	11億7300万円 13.7%
	財産区(5財産区合計)	5160万円 133.5%
	企業会計	
水道事業	32億4900万円 △0.9%	
下水道事業	48億500万円 3.0%	

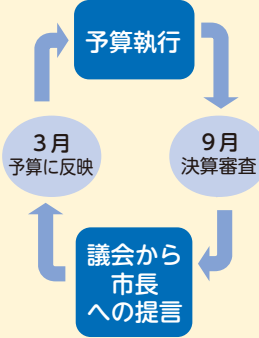
一般会計予算 **318億**



議会の意見が予算に反映されているんだね。



予算決算審査サイクル



外国籍児童生徒が増え続ける現状を踏まえ、通訳サポーターの増員を図り、学習支援を充実させること。

外国籍児童生徒の多国籍化(多言語化)に対応するため、通訳サポーター(ベトナム語)を増員して学習支援を行います。

¥ 予算へ反映
・スクールサポート事業
1億6006万円

提言 4

通訳サポーターの充実について



提言 3

不登校児童生徒への学習支援について

不登校児童生徒の一人一人の状況に応じた、早い段階でのきめ細やかな支援策の策定や、ICTを活用した学習支援など、より適切な支援や働きかけを行うこと。

- ・スマイリングルームにタブレット、メタバースを活用し不登校支援を行う「つながりサポーター」を新たに配置します。
- ・各学校でのカウンセリングの日数や時間を増やします。 など

¥ 予算へ反映
・笑顔のもとを育む事業の内、不登校児童生徒支援に係る事業費
3269万円

常任委員会報告

〔第1回定例会での議案審査の概要など各委員会の活動を紹介します〕

予算決算委員会

令和5年度予算及び令和4年度補正予算について審査しました。令和5年度予算等に関して、委員から執行部への質問が121件ありました。

令和5年度一般会計予算

◆質問と回答◆

Q カーブミラーの設置要望は多くあるが、未だ設置されていない箇所が多くある。その対応はできないか。

A 設置要望箇所を確認・点数化して優先順位をつけている。見通しが悪いことはもちろんであるが、交通量や危険度に重点を置き対応している。また、設置基準に満たない箇所であっても、予算の範囲内で対応している。

Q 坂戸の運動公園グラウンドは整備期間中利用できなくなるが、関係団体との調整は。

A 運動公園グラウンドは、令和5年11月から令和7年度末まで、工事の影響により利用できない。各種団体には様々な機会を通して整備計画について説明している。代替施設として、広見市民グラウンドの年間利用が可能となるよう準備を進めている。

メタバースの活用は慎重に

委員会での質疑や討議をふまえ、議会からの意見として次のことを要請しました。

【笑顔のもとを育む事業】

不登校児童生徒への支援策として、メタバース（インターネット上の仮想空間）を活用すると

されているが、新技術の利用で今までにない効果が期待できるものの、不確実な仮想空間の運用には不安要素もあり、想定しているフォロー体制も万全とは言えない。利用する児童生徒の不利益とならないよう十分に考慮し、慎重に進めること。

総務企画委員会

条例の制定4件、条例の一部改正1件、その他1件について審査しました。

督促手数料を廃止

金融機関における市税等の督促手数料の取扱い事務の一部変更に伴い、督促手数料を廃止するため、関係条例を改正するものです。

◆質問と回答◆

Q 督促手数料を廃止した場合に業務時間や人件費はどれだけ削減されるのか。

A 年間550万円程度の経費削減となる。

原子力発電所の再稼働および新増設は国民的議論を尽くすことを求める請願

原子力発電所の建て替えや運転期間延長が進められる中、政府や国会に対し、開かれた場で十分な議論を尽くした上で決定することを求める意見書を出してほしいという請願がありました。審査の結果、賛成少数で不採択となりました。委員からは次のような意見が出ました。

反対 国の責任としてエネルギーの安定供給や脱炭素に向けた取り組みが行われており、国会で審議されている。

賛成 再稼働のルールを作ったときの運転期間は40年であったが、そのルールを今緩めていいか疑問であるため、慎重な議論、国民的議論をしても良いと考える。

建設市民委員会

条例の一部改正2件、条例の廃止1件、市道の認定1件について審査しました。

手数料徴収条例の一部改正

低炭素建築物新築等計画および建築物エネルギー消費性能向上計画の認定等の申請について新たな基準が創設されたことに伴い、改正するものです。

◆質問と回答◆

Q 新たな仕様基準が設けられたことにより手数料が追加されるが、審査対象にどのような違いがあるのか。

A 従来の標準計算では、例えば建物の外壁の面積や長さなどを精密に算出して評価する必要があったが、新たな基準では材質などの仕様で簡易に判断できるようにする。

市道を新たに認定

下恵土地区の県の河川管理道路を市道5407号線として新たに認定するものです。

Q 市道認定に至った理由は。

A この道路は穴が開いてタイヤが落ち込むなど舗装状態が悪く、長きに渡り住民からの補修要望が多くあった。県は河川管理用道路のため補修の対象とならないとしており、市民の生活道路としての安全を確保するために、市道として認定し補修をしていく方向である。



市道5407号線

教育福祉委員会

条例の一部改正6件について審査しました。

家庭的保育事業等の設備や運営基準の一部改正

家庭的保育事業等の設備や運営に関する国の基準の改正に伴い条例を改正するものです。

Q 他の社会福祉施設を併せて設置している場合は兼務の職員でもよいとしているが、本当に問題がないか。

A まだ本市では実例はないが、障がい児に関する相談や入園希望者が増える中で、インクルーシブ保育を推進しやすい状況をつくるためにも基準を設定した。

Q 令和5年度末までに乳幼児送迎用車両にブザーを付けられない場合の代替措置は。

A 本市には例がないが、リスト等を作成して確認することなどが考えられる。

不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める請願

不登校児童生徒数が急増する中、フリースクール等の民間施設について、利用する際の経済的支援や、設立・運営に関する補助金制度の確立を求める意見書の採択をしてほしいという内容です。審査の結果、賛成少数で不採択となりました。委員からは次のような意見が出ました。

反対 国に助成を求めるという中で、フリースクール等を利用する家庭への助成はよいが、フリースクール自体は定義が様々であり、現段階では採択できない。

賛成 小中学校は義務教育である。教室に行けない子どもたちのため、多様な学習機会の確保が急務である。

※本会議における討論・採決の結果、請願2件は採択となりました。

第1回定例会 提出された議案等と審議結果

提出された議案は、承認1件、予算18件、条例14件、その他4件の合計37件でした。
それ以外に請願2件、委員会提案(発委)が3件、議員提案(発議)が2件あり、すべて原案のとおり可決されました。

【全会一致で承認、可決された議案】

番号	件名	番号	件名
承認	1 令和4年度一般会計補正予算(第9号)	議案	22 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
議案	2 令和5年度国民健康保険事業特別会計予算		23 手数料徴収条例の一部改正
	5 令和5年度自家用工業用水道事業特別会計予算		24 特別会計条例の一部改正
	6 令和5年度農業集落排水事業特別会計予算		25 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	7 令和5年度可見御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計予算		27 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	8 令和5年度土田財産区特別会計予算		28 子ども・子育て会議条例の一部改正
	9 令和5年度北姫財産区特別会計予算		29 児童発達支援センター設置条例の一部改正
	10 令和5年度平牧財産区特別会計予算		30 国民健康保険条例の一部改正
	11 令和5年度二野財産区特別会計予算		31 可見都市計画可見駅東土地区画整理事業施行条例の廃止
	12 令和5年度大森財産区特別会計予算		32 副市長の選任
	13 令和5年度水道事業会計予算		33 可茂広域公平委員会委員の選任
	14 令和5年度下水道事業会計予算		34 可茂消防事務組合規約の変更
	15 令和4年度一般会計補正予算(第10号)		35 市道路線の認定
	16 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		36 令和4年度一般会計補正予算(第11号)
	17 令和4年度可見御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)	発委	1 議会個人情報保護条例の制定
	20 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正		2 議会基本条例の一部改正
	21 職員の降給に関する条例の制定		3 議会委員会条例の一部改正

【賛否が分かれた議案】

番号	件名	奥村	松尾	中野	高木	大平	渡辺	伊藤	勝野	板津	澤野	山田	川合	川上	天羽	酒井	野呂	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	林
		新五	和樹	喜一	将延	伸二	仁美	正規	博之	伸弘	喜己	敏己	文浩	良明	正司	和久	一男	悟	健二	牧子	光	則夫	
議案	1 令和5年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	3 令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	4 令和5年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	18 個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	19 個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	26 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
請願	1 「原子力発電所の再稼働および新增設は国民的議論を尽くしたうえで決定することを求める意見書」を政府及び国会に提出することを求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 「不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	1 原子力発電所の再稼働及び新增設は国民的議論を尽くした上で決定することを求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長(板津 博之)は採決に加わらない。
※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

本市の小中学校図書館の整備は順調か



さわ野 しん
さわ野 しん

Q 図書購入費予算は十分か。蔵書数等各学校からの要望に応えられているのか。

A 各学校の図書購入費は、毎年度当初に消耗品費や修繕費等と同様に児童生徒数や学級数等を基準とした学校配当予算として各学校に配分している。文部科学省が第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」で示す学校図書館図書標準を全小中学校で上回っている。

相続登記の義務化は課題解決につながるか

Q 土地の所有者不明化によって問題が生じた事例はあるか。固定資産税納税義務者不明による空き家対策への支障はなかったか。

A 登記事項証明書の権利部

に氏名や住所の記載はあるが、相続登記が完了しておらず、現時点での所有者が不明の場合があったが、戸籍調査などを活用して現所有者を確定するなど、滞りなく業務を完了することが出来た。指導等の措置が必要となる空き家においても、所有者となる固定資産税納税義務者が判明しなかったケースはなかった。

今後、相続登記の義務化により、相続人調査などの事務軽減に繋がると期待する。



土田小学校の図書館

明智光秀公の生誕地 可児の未来は



あも う よしあき
天羽 良明

Q 明智荘のPRを今後はどう展開するか。

A ぎふワールド・ローズガーデン内の明智荘の館は、2023年1月に閉館したが、「明智光秀のふるさとPR業務」で、明智荘の各所を周遊する光秀ウォーキングを実施した。山城のイベント「山城に行こう!」でも、明智城跡を会場の一つとして、観光客を誘導するなど、明智荘エリアを一体的にPRしている。ボランティア団体が主体的に行う観光客のおもてなしと連携して実施しているものであり、引き続き、明智光秀のふるさと明智荘PRを行っていく。

産湯の井戸周辺整備の考えは

Q 生誕地の伝承があれば、恵那市や山県市のような産湯

の井戸があるのが定番である。井戸設置を含めた柳の太木と井戸の周辺整備の考えは。

A 明智荘散策マップに掲載し、現地に解説板を設置して、案内している。光秀公のファンは、産湯の井戸跡地と柳の太木を見ながら想像をめぐらしていると考ええる。しかし、周辺整備は、当該地が民地であり、また周辺が農地であるため、地元自治会や各ボランティア団体と相談をしながら、検討する必要がある。



光秀公ゆかりの産湯の井戸(山県市)



YouTubeで一般質問の様子を配信しています。※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。

本市に夜間中学設置を



とみだ まきこ
富田 牧子

Q 義務教育を終了しないまま学齢期を経過した人や、不登校など様々な事情によって十分な教育を受けられなかった人、外国籍の人などが再び学ぶ場が夜間中学だ。文部科学省は、各県に1校夜間中学を設置することを奨励している。本市に夜間中学を設置するよう県に働きかける考えはあるか。

A 県では令和4年度に外国籍生徒が多い13市町で夜間中学の予備調査を行い、5年度は本格的なニーズ調査を行う予定である。本市に暮らす外国籍市民で、実際に義務教育の機会を必要とする人がどれだけいるのかは不明だが、県の調査に協力し今後の動向を注視していく。

コミュニティ・スクールは十分な準備が必要

Q コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と、これまでの学校評議員会との違いは。

A コミュニティ・スクールは、教育委員会が任命する非常勤の特別職で構成された一定の権限を有する合議制の機関で、学校運営に当事者として参画できる。設置に向けて話し合いを十分に行い、準備が整った学校からスタートする予定である。



夜中を全国に！プロジェクト
(文部科学省ホームページより)

可茂消防事務組合の現状と問題点



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 可茂消防御嵩分署の移転停止による影響は。

A 現時点で再開時期は未定だが、各市町村と協議し、組合議会の承認を得て再開する。緊急防災減災事業債が使えないと財源負担は増加する。

Q 可茂消防の監査委員は美濃加茂市の識見監査委員と坂祝町長であるが、識見監査委員の二人体制にしてはどうか。

A 最近様々な問題が出てきており監査の充実は大切だ。管理者の美濃加茂市長と協議する。

Q 美濃加茂市職員の組合への出向を廃止した理由は。

A 美濃加茂市の職員が組合へ総務課長として派遣をされていたが、組合で内部昇格した総務課長で十分対応が可能であるとの理由から、平成31

年度以降、派遣を廃止した。

救急ワークステーションとは

Q 救急ワークステーションの役割と現状は。

A 中部国際医療センター敷地内において、常駐型救急ワークステーションとして、令和4年2月に運用開始した。3名体制で24時間365日救急出動体制をとっている。救急現場から迅速な医療提供を行っている。



救急ワークステーション
(可茂消防ホームページより)

高校生世代まで子ども医療費助成の拡充を



いとう けんじ
伊藤 健二

Q 県内各地でも、高校生世代18歳までの医療費の窓口負担を軽減する制度が拡充されている。県からの財政支援を獲得しながら、助成対象を入院から始めるなど視点を変えて検討し、無料化に踏み出す考えはないか。

A 全国一律の医療費助成制度は国が創設すべきであり、全国市長会においても国などに対して提言している。県は現時点では助成の対象年齢の引き上げを考えていない。どのような子育て支援策が有効なのか、1年かけて全庁的に検討を進める。その中で、子ども医療費制度がどうあるべきかについても検討する。

学校給食費の助成制度創設を

Q 昨年春の値上げによって年間の給食費は約6万円となり、保護者の負担は大きい。給食費の無償化、保護者負担の軽減対策についてどう考えているか。

A 学校給食法には保護者の負担について規定があり、経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者には就学援助費で別途必要な援助をしている。物価高騰に対しては、国の交付金制度も勘案しながら、今の給食費の額で給食を提供していきたい。



給食の様子（中部中学校）

広報紙の配布方法とその課題は



おおひら しんじ
大平 伸二

Q 市広報紙「広報かに」は、毎月3万2000部印刷されている。未配布部数は月平均どの位あるのか、設置場所の配布状況は調べているか。

A 設置場所の定期的な配布状況調査は行っていない。令和3年度に一部の商業施設やコンビニ、駅について調査した。また今回、地区センター等の公共施設について調査した。これらの調査結果から推計すると約600部の未配布部数が発生していると考えられる。

福祉施設や医療機関にも設置場所の増設を

Q 現在の配布方法（自治会配布）により地域間格差が生じてきている。対策はされているか。

連合会名	加入世帯数	住民基本台帳登録世帯数	加入率
今渡	1,275	4,490	28.4%
川合	871	2,822	30.9%
下恵土	1,806	4,673	38.6%
土田	1,422	3,830	37.1%

全連合会合計	加入世帯数	住民基本台帳登録世帯数	加入率
合計	24,693	43,706	56.5%

自治会加入率の低い地区と全市平均の比較表

A 自治会加入率の低下や高齢化の進展で、配布方法の課題が顕著になってきている。高齢者など、電子媒体での情報取得が困難な方もみえることは認識している。高齢者の利用が多い福祉施設や医療機関に配置をお願いできないか、モデル地区を設定し、ニーズ調査をしていきたい。

「可児の企業魅力発見フェア」の可能性



まつお かずき
松尾 和樹

Q 近隣高校の進路指導担当の先生にも可児の企業の魅力をより知ってもらえるような機会を作ってはどうか。

A 先生方から可児の企業の魅力を生徒へ伝えてもらえれば、若い世代の地元就職及び定住に繋がることが期待されるので、次年度以降は、そのような点も考慮して計画したい。

普通科高校の生徒にも多くの参加を

Q 開催目的は、マッチングではなく、地元企業のことや、働く価値観、進路選択について考える機会の提供と聞いている。普通科高校の参加は。

A 進学希望者の多い高校の参加はないが、できる限り多くの高校生に参加してもらえ



約600人の地元高校生等が参加

るように検討していきたい。
Q 市内企業の魅力を知ってもらい、将来の就職に繋げるために、他にはどんな取り組みが考えられるか。

A 高卒就職者の進路選択における保護者の関与の度合いが70%と非常に高いことを踏まえ、保護者に対し、市内企業の魅力や市内で就職することのメリットを伝えていくことも必要である。

新型コロナウイルスワクチン後遺症



なかの きいち
中野 喜一

Q 国の予防接種健康被害救済制度への申請及び認定件数は。また、申請時の注意点は。

A 予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障がいが残ったりした場合で、厚生労働大臣が認定したときに予防接種法に基づく健康被害の救済、医療費等の給付を受ける事ができる。この制度の申請者は市内で5名、そのうち国が認定した方は現時点で2名である。申請時に必要な書類は請求書、受診証明書、領収書など厚生労働省で定められているもので、市の相談窓口は健康増進課である。

県内でワクチン後遺症に対応する病院は

Q ワクチン後遺症の診察を

行っている医療機関は。

A ワクチン接種後の副反応に関する相談先は、かかりつけ医や接種を受けた医療機関となる。岐阜県ワクチンコールセンターでも相談を受け付けているが、さらなる対応が必要な場合に紹介する医療機関を中濃圏域では関市の中濃厚生病院、東濃圏域では多治見市の県立多治見病院など7病院を県が確保して対応している。



県立多治見病院(東濃圏域)

働きがい求めて

Q 若者の働き方を考える上で、わくわくWorkプロジェクトの果たす役割は大きい。このプロジェクトの目的は。

A 働きやすさ、子育て支援や介護支援、地域活動支援を積極的に行う企業の取組等の推進を図り、活力ある地域経済づくりと若者の定住促進に繋げることである。

Q 当プロジェクトの効果や実績は何であるか。

A 3年連続で新卒者を採用している企業がある。従業員数30人未満の市内企業で、この実績は得難い。企業努力とともに、わくわくWorkプロジェクトの効果があったと言える。

今後の事業の見直しは

Q 今後の見直しをどう図る

か。

A 若い世代の定住促進も念頭に、多様な人材が職場環境に求めるニーズを把握しながら見直しを行っている。

例えば、改正育児・介護休業法への対応など、事業環境を取り巻く課題への対応について、登録企業の評価基準を拡充し、より魅力ある職場環境の創設と雇用の安定を図っていききたい。



わたなべ ひとみ
渡辺 仁美



働き方改革の講座(企業向け)

令和5年度施政方針は

Q 規律ある予算編成とはどういうことか。

A 各事業の目的をしっかりと定め、選択と集中により、市民の将来にとって必要な各事業に積極的・集中的に予算配分をし、将来世代に過度な負担をかけない財政規律を強く認識したことである。

Q 本市の新たな魅力の発信をどのようにするのか。

A 市長就任以来、各地区での市政懇談会や各種団体との懇談会、小中学校での授業や派遣事業者等との話し合いなど、様々な行事に参加し、市の取り組みを直接伝え意見を伺ってきた。今後の新型コロナウイルス感染症の扱いを踏まえ、市民や事業者と直接コミュニケーションをとること

を大切にしながら、本市の魅力を

地域からの翻訳依頼の現状は

Q 自治会からの翻訳依頼は主にどのようなものか。事前に定型文を作成してはどうか。

A 基本的には地域社会における生活ルールやゴミ出しに関するものなどである。依頼内容がまちまちで定型文の作成は難しいが、過去に翻訳したものに修正を加えて対応ができるかと考えている。



やまだ よしひろ
山田 喜弘



令和5年度予算のリーフレット

コロナ後の地域活動への支援は



たかぎまさのぶ
高木 将延

Q 新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されれば、地域活動も再開できる。地域の課題解決に地区センターをどのように活用していくのか。

A 各地区センターにおいて地域の課題解決に向けたワークショップを開催している。多くの方に利用していただくよう必要な支援を行っていく。特に、子どもたちが関わりを持つような活用をするこゝとで、地域への愛着が育まれることを期待している。

新交付金を活かすには

Q 新しく2つの交付金制度が始まるが、地域の支え合い活動にどう活かしていくのか。

A 自治連合会地域づくり交付金は、地区センターまつり

や、防災訓練、環境整備、各種団体の活動支援に使え、将来に向けた地域づくりの取組に活用していただきたい。自治会活動推進交付金は、自治会内でのコミュニティの醸成や、自治会活動のさらなる推進のため、各自治会の様々な活動を対象としている。新制度の説明に際し、各地域にて申請・実績報告に伴う書類作成等の助言、支援など、丁寧に対応していく。



今渡地区センターで開催されたイベント

市役所での窓口手続きの利便性向上を



のろかずひさ
野呂 和久

Q 北海道北見市では、一つの窓口で複数の行政手続きを完結する、書かないワンストップ窓口を実施している。こうした取り組みについて、本市の考えを問う。

A 各課において業務の見直し等を実施した。その中で、市民課では窓口の待ち時間短縮を目指すこととした。職員が必要な情報を聞き取り、申請書を作成し、最後に市民に内容を確認・署名してもらい、手続きを完了させるシステムを導入する。併せて、入力項目の多い在留資格情報をスキヤナで読み込むシステムも導入し、外国籍市民の転入等の手続き時間の短縮及び正確性の向上も図っていく。

申請手続きのオンライン化の方向性は

Q 窓口に行く手間等を省く手続きを望む市民もいる。オンライン化の今後の方向性は。

A 令和4年4月から申請書等を順次、オンライン化している。今後は申請可能な手続きを増やし、充実させていく予定である。また本人確認を要する手続きや金銭納付のある手続きのオンライン化も順次進めていく予定である。



手続きの待ち時間短縮を目指す市民課窓口

飼主不明猫の不妊去勢手術に補助金を



なかむら さとる
中村 悟

Q 飼主不明猫に対し本市は何を行っているのか。また、その成果は。

A 本市では令和3年1月から公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加している。利用実績は、令和2年度10件、3年度133件、4年度113件（2月末現在）となっている。なお、県の地域猫活動支援事業を利用して市内自治会はない。

ボランティア団体への支援を

Q 今後の取り組みと補助金の必要性は。

A 繁殖制限については、「さくらねこ無料不妊手術事業」への参加を継続し、ボランティア団体の支援を行っていく。

各団体に過度な負担がかからないよう、飼主不明猫をできるだけ増やさない取り組みも必要で、県の地域猫活動支援事業につながるよう支援していく。

補助金の必要性については、どのような仕組みが地域やボランティアの皆さんにとってよりよい支援につながるのか、地域の理解を得られる仕組みを考える中で検討していく。



市内公園に置き去りにされ繁殖した猫

本市の食品ロス対策は



やまね かずお
山根 一男

Q 昨年7月の「可児市ゼロカーボンシティ宣言」では、今後の取り組みとして『フードドライブの推進及びフードバンク活動の実施』が掲げられている。本市の食品ロス対策の現状と展望は。

A 本市の食品ロス量は、農林水産省等の推計値に基づくと年間約4100トンとなる。今年度は環境フェスタ開催時などにフードドライブを実施し、406キログラムの食品が集まった。可児市社会福祉協議会を通じて生活困窮者や高齢者サロン、こども食堂に配布されている。フードバンクの仕組みづくりに向けては、情報収集や活動団体の発掘を図っていきたい。

宅内漏水の現状と対策は

Q 住宅の老朽化に伴い、宅内に敷設されている水道管の破裂による漏水が起きやすくなっている。その現状及び対策は。

A 過去5年間の年平均での漏水件数は219件、減免金額は約455万円である。昨年度は10万円以上の還付となった宅内漏水が5件あった。老朽化した水道管は漏水の危険性があり注意が必要である。漏水には一定の要件のもとで減免制度がある。



環境フェスタで行われたフードドライブ

可児市議会では若い世代との交流や意見聴取の機会として、定期的に高校生議会を開催しています。

3月24日に可児高等学校の生徒が議場にて令和4年度の探究活動の報告や市への提案を行いました。各グループの報告に対して市議会議員や市の職員が質問し、高校生議員がその内容に答えました。



テーマ① アーラと協力した児童との交流

・「子どもの居場所作り」を目的に、高校生と小学生が遊びなどを通じて交流できる企画を「アーラまち元気部」と共に考え、年3回開催した。

- Q 若い世代が中心となった素晴らしい活動。次の展開は?
 A このような活動が市内の一部だけでなく全体に広がるよう、他の高校と協力していければと考えている。



テーマ② 地元企業紹介動画を作成

・中高生が将来の仕事を考える際に参考にできるように、地元の魅力的な企業の紹介動画を可茂IT塾と共同で作成した。

- Q 就職するならどんな企業がいい?
 A 仕事内容だけでなく、社員が助け合っていたり、温かみのある雰囲気などを大切にしている企業。



テーマ③ 里芋で地域おこし ~五平餅でPR~

・JAめぐみのや地域団体の協力のもと、可児市の特産品である「里芋」を使った五平餅をベースに商品開発している。

- Q 今後どのように五平餅をPRしていく?
 A ケーブルテレビ可児の番組やツイッター、インスタグラムを活用して発信していきたい。



テーマ④ 休耕地の有効活用へ ~農業振興アプリの提案~

・少子高齢化が進む中、農家や農地の減少が著しい。農業を続けられないため農地を貸したい人と、新たに農業を始めたい人をマッチングするアプリ「土地めぐり」を考えた。

- Q 新たな就農者を増やすには?
 A 一番の壁は初期費用が多くなること。市も農業を始める方への支援に関わってほしい。

意見書を提出

各グループの発表と質疑応答が終了後、1年生の^{みいあ}和田海愛さんが代表で「高等学校における探究活動に対する支援に関する意見書」を読み上げ、全員賛成で採択されました。

この意見書は、高校生が主体的に地域の課題解決について探求活動を行うことが、可児市にとっても将来の担い手や住みやすいまちづくりにつながるため、協力を求めるものです。

○要望事項 可児市役所内に若者の探求活動を支援する部署を設置すること。



板津議長に意見書を手渡す和田さん

議員と話そう!

議会報告会

可児市議会は、広く市民の意見を聴くために議会報告会を開催しています。
今回は委員会ごとにテーマを設定しましたので是非ご参加ください。



テーマ① どうなる?私の交通手段

日時 5月14日(日) 午前10時～ 場所 市役所5階議会フロア
(担当:建設市民委員会)

テーマ② 考えよう!これからの地域防災

日時 5月14日(日) 午後2時～ 場所 福祉センターホール
(担当:総務企画委員会)

テーマ③ 高齢者のあんき(安心)のために

日時 5月15日(月) 午後1時30分～ 場所 福祉センターホール
(担当:教育福祉委員会)



テーマ①～③ 共通

- ・事前の申し込みは必要ありません。当日開始10分前までに会場にお越しください。
- ・各日、議員からの議会活動報告の後、テーマについて懇談します。
- ・今回は対面での懇談を基本としますが、ZOOMでの参加を希望される方は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

【問合先】可児市議会事務局 電話 0574-62-1111 Eメール gikai-jimu@city.kani.lg.jp

議会レポート

このコーナーでは、
議会が行っている活動などを紹介します。

▼議会基本条例を検証 (12月～2月)

可児市議会では、プロジェクトチームを結成し、「議会基本条例」の検証を行いました。この条例は、議会の最高規範として平成24年に制定されたものですが、現状の活動や時代の変化に沿った内容になっているかなど、5回にわたり検証しました。

改正された議会基本条例のもと、市民の皆様
の信頼に応え議会活動に取り組んでいきます。



▼小学生のお仕事体験にブース出展 (3月5日)

可児商工会議所青年部の主催で、「小学生の楽しい職場 お仕事体験in可児」が福祉センターで開催され、可児市議会もブースを出展しました。

「議会ってどんなところ?」など、集まってくれた子どもたちに、クイズをまじえて議会の仕組みについて議員が説明しました。積極的に質問してくれる子がいたり、お金の使い道について皆で話し合ったり、とても楽しい1日となりました。



チョットおじゃまします

今回は、議会広報部会員の山根議員と澤野議員が県立可児工業高等学校ホッケー部の練習におじゃまして、顧問の重森 誠先生とキャプテンの巾 友輝さんにお話しを伺いました。

※文中で広報委員は（広）、重森先生は（重）、巾さんは（巾）としています。

広：昨年12月に開催されました「全国高等学校選抜ホッケー大会」に5年連続出場おめでとうございます。出場されていかがでしたか。

巾：自分のミスチームのみんながカバーしてくれて東海大会を勝ち抜くことが出来ました。全国大会では相手チームの威圧感がすごくて、レベルの違いを肌で感じる良い経験でした。

広：チームの特徴とホッケーの魅力を教えてください。

巾：コミュニケーションがしっかり取れていて、仲の良いチームです。シュートを打ったときの気持ち良さは格別です。3年生が引退して現在部員は6名ですが、新入生にホッケーの魅力を伝え一緒にプレーする仲間を集めたいと思います。

広：先生は可児工業高等学校ホッケー部OBだとお聞きしました。創部57年という伝統あるチームの指導方針をお聞かせ下さい。



ホッケー部の皆さん ※3月取材時

重：団体スポーツを通じて組織での役割の大切さを感じてもらいたいですし、社会に出ても恥ずかしくない人間形成に寄与できればと考えています。しかし、年々部活動に参加する生徒が減っていて、部員確保が非常に難しくなっています。しっかり活動を継続させていきたいと思っています。



迫力ある練習風景

【取材を終えて】

重森先生のぬくもりある指導のもと、キャプテンを中心に和気あいあいと活動されている様子がうかがえました。

ケーブルテレビ可児で放送します

令和4年度下半期の議会活動をお伝えする番組「議会のトビラ」を放送します。

放送予定 5月6日（土）～5月12日（金）

各日 （午前）6時00分、10時15分、
（午後）3時15分、7時45分、9時15分

表紙の

今回の表紙は東帷子の「可児やすらぎの森」にある中部地区有数の長さ140メートルを誇る滑り台の写真を応募していただきました。

鈴木さんのコメント

「子どもから大人まで楽しめる、ながーい滑り台です。周りには自然豊かな遊歩道もあるので散歩にオススメです」

表紙の写真やイラストを募集中!
詳しくは可児市議会のホームページへ。



バラ議会のお知らせ

5月 31日 開会日（議案説明）

可児市議会では、6月定例会をバラ議会として、バラのまち可児をPRしています。

今年は、3年ぶりに議場コンサートを行います。バラに囲まれた議場の中で、ゆったりとバイオリンの演奏を楽しみませんか？

ぜひお越しください。

♪ 5月31日(開会日) 午前9時～



6月 8日、9日 一般質問・議案質疑

12日、13日 予算決算委員会、総務企画委員会

15日、16日 建設市民委員会、教育福祉委員会

22日 閉会日（委員長報告・採決）

※会議は午前9時から開会します。
※日程は、都合により変更する場合があります。



「可児市議会だより」は再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。